

平成28年1月29日

平成28年 第1回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成28年第1回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成28年1月29日（金曜日）午後2時00分～午後3時01分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・7会議室

3. 出席委員 1番 鈴木敏彦（委員長）

2番 武石修一郎

3番 岩田圭子

4番 藤宮志津子

5番 真如昌美（教育長）

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

学校教育部長 阿部晴彦 社会教育部長 小俣学

学校教育部
参事兼
指導室長
岡田博史 学校教育課長 岩本尚史

建築課長兼
教育施設担当
中橋健 給食課長 梶川義夫

社会教育課長 村上敏彰 中央公民館長 尾又恵子

中央図書館長 関田実千代

6. 書 記

庶務係長 福嶋まゆ美 主 事 古川敦子

○議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 教育長諸務報告
- 第 3 第 1 号議案 東大和市教育委員会委員の辞職について
- 第 4 第 2 号議案 平成 28 年度東大和市学校給食事業計画及び平成 28 年度東大和市学校給食会計予算について（諮問）
- 第 5 その他報告事項
 - （1）調理配膳業務委託業者の選定について
 - （2）新学校給食センターにおけるアレルギー対応について
 - （3）第 35 回東大和市立小・中学校連合書き初め展について
 - （4）東大和市社会教育委員会議からの提言について
 - （5）第 62 回東大和市成人式について

◎開会の辞

○鈴木委員長 ただいまから平成28年第1回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○鈴木委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は、岩田委員にお願いいたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○鈴木委員長 日程第2、教育長諸務報告を行います。
教育長。

○真如教育長 平成27年12月24日から平成28年1月26日までの諸務報告であります。

12月24日、木曜日、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会体育・保健体育、健康、安全ワーキンググループに出席をしました。

12月26日、土曜日、東大和市小・中学生意見文の発表会に出席をいたしました。この取組は初めての試みでありましたけれども、子どもたちの東大和市を見る目が随分新鮮で、聞いてくださっていた保護者、地域、それから引率の校長先生、先生方、全ての方々から好評をいただきました。

1月6日、水曜日、市長、副市長と教育委員の年頭懇談会に出席をいたしました。

1月11日、月曜日、第62回東大和市成人式に出席をいたしました。後から、社会教育課長から説明があります。

1月12日、火曜日、関東地区都市教育長協議会第2回理事会に出席をいたしました。次年度計画、それから役員人事、情報交換等が行われました。

1月13日、水曜日、東京都市教育長会幹事会、定例会及び東京都教育委員会連絡会に出席をいたしました。年度初めと、それから新しい新年を迎えたときに、東京都の幹部と東京都市の教育長会と情報交換の会が、次年度に向けた予算についての報告や指導等に関わる内容で行われました。

1月16日、土曜日、第35回東大和市連合書き初め展を視察いたしました。これ

も先ほどの小学生、中学生の意見文発表会と同様に、随分たくさんの方がおいでになって、その作品の見事さに感動されている方がたくさんいらっしゃいました。

1月20日、水曜日、先ほどお話ししました文科省の会議に出席をいたしました。

1月21日、木曜日、第四小学校言語活動研究発表会を視察いたしました。あわせて、東大和市青少年問題協議会に出席をいたしました。青少年問題協議会では、善行表彰の対象団体等を選ぶ、そういう内容の会でありました。

1月22日、金曜日、第三小学校教育課題研究発表会を視察いたしました。今年は第四小、第三小、第六小学校、それから第四中学校の4校の研究発表会がありまして、4校とも随分立派な研究発表をされていたと思います。それぞれが自分の学校のテーマを定めて研究をしているのですけれども、中でも指定を受けた学校については、それなりの課題を明確にして取り組んでいる様子が見られました。大変学校の質も高まってきたなと考えております。今後につきましては、研究発表の内容が他の学校にも参考になり、それがたたき台になって、さらに良い研究になっていくような、そういう東大和市の学校教育が展開できれば良いなと思っていますところでは。

1月25日、月曜日、七市の教育長会で、情報交換を行いました。

1月26日、火曜日、東京都教育委員会教育施策連絡会の企画会議に出席をいたしました。来年度は4月14日に開催されます。今年は今まで学校と、それから行政と、2度に分けて連絡会を開いていたのですけれども、次回は区市町村教育委員会と幼小中高の校長が一堂に会して一つの目標に向かって東京都の学校教育をさらに盛んにしていこうという発想で、今、企画をしているところであります。会場も大きな会場を今、現在、探しているところです。随分変わった感じの連絡会になると思います。

以上です。よろしくお願いいたします。

○鈴木委員長 教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、ご質疑等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

教育長諸務報告を終わります。

◎非公開会議の宣告

○鈴木委員長 ここで、会議の非公開についてお諮りいたします。

日程第3、第1号議案 東大和市教育委員会委員の辞職については、人事案件であることから会議を非公開としたいと思いますが、これに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○鈴木委員長 賛成者全員。よって、会議は非公開といたします。

さらに、本日の会議録及び会議用資料の取り扱いにつきまして、お諮りいたします。

本案の会議録及び会議用資料につきましても、非公開としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木委員長 ご異議なしと認め、そのように取り扱いいたします。

ここで。関係者以外の退場を求めます。

(該当者退場)

(この間非公開)

○鈴木委員長 ここで、会議の非公開を解きます。

退場者の入場を認めます。

(該当者入場)

◎日程第4 第2号議案 平成28年度東大和市学校給食事業計画及び平成28年度東大和市学校給食会計予算について(諮問)

○鈴木委員長 日程第4、第2号議案 平成28年度東大和市学校給食事業計画及び平成28年度東大和市学校給食会計予算について(諮問)について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

教育長。

○真如教育長 ただいま議題となりました第2号議案 平成28年度東大和市学校給

食事業計画及び平成28年度東大和市学校給食会計予算について（諮問）につきまして、提案理由及びその内容のご説明を申し上げます。

本件は、平成28年度東大和市学校給食事業計画及び平成28年度東大和市学校給食会計予算を策定するに当たりまして、東大和市学校給食センター運営委員会規則第2条に基づき、東大和市学校給食センター運営委員会に諮問するものであります。

詳細につきましては、学校教育部長からご説明いたしますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○鈴木委員長 学校教育部長。

○阿部学校教育部長 それでは、詳細につきましてご説明申し上げます。

初めに、平成28年度東大和市学校給食事業計画案についてでございます。

資料の1ページをお開きください。

第1、学校給食法の目的であります、学校給食事業の前提となる学校給食法が定める目的を、ここに掲載しております。

次に、第2、学校給食事業の主旨であります、身体の発育期にある児童・生徒にバランスのとれた食事を提供し、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けさせるため、東大和市教育委員会の基本方針に基づき、学校給食事業を実施することとしております。

次に、第3、学校給食センターの稼働日であります、各学校において給食を行う日が選択できるよう、別表1によりまして年間201日を給食センターの稼働日としております。

次に、第4、年間給食日数であります、児童・生徒が学校で給食を食する日数を、小学生第1学年は186日、2学年から6学年までは192日、中学生は185日としております。このようなことから、各学校におきましては、この給食実施基準日数の範囲で給食を実施していくことになります。

次に、第5、栄養摂取基準及び食品構成であります、国で定めた別表2の学校給食摂取基準と別表3の学校給食の標準食品構成表を参考とし、栄養価の計算等を実施してまいります。

恐れ入りますが、2ページをお開きいただきたいと思います。

次に、第6、給食費であります、1食当たりの基準額及び月額給食費は、

前年度と同額でございます。なお、資料を3、4ページにつけておりますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

続きまして、平成28年度東大和市学校給食会計予算案につきまして、ご説明させていただきます。

資料、1ページをお開きください。

まず、収入であります。科目1の給食費は、本年度予算額3億2,798万4,000円、2の繰越金は1,000円、3の諸収入は10万4,000円で、合計3億2,808万9,000円です。前年度と比較いたしまして、61万3,000円の減額でございます。

2ページをお開きください。

収入の事項別明細で、科目1、給食費の1、現年度給食費は、本年度予算額3億2,568万2,000円で、説明の欄に各学校及び給食センターの内訳を掲載してございます。

さらに、4ページには、各学校の資料をつけてございますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

2ページの2、過年度給食費でございますが、平成26年度及び平成27年度に発生した給食費の滞納分でございます。本年度の予算額は230万2,000円で、前年度と比較して11万5,000円の減額となっております。

続きまして、科目の3、諸収入、1の試食会代金は10万3,000円で、前年度と同人数で見込んでおります。

5ページには、給食センター分の給食費、過年度給食費、さらに試食会の代金の資料を掲載しております。

恐れ入りますが、1ページにお戻りいただきたいと存じます。

支出でございます。

科目1の主食費であります。本年度予算額は5,205万8,000円で、前年度と比較いたしまして286万6,000円の減額、2の副食費は2億7,603万1,000円で、前年度と比較いたしまして225万3,000円の増額であります。合計で、本年度の予算額は3億2,808万9,000円で、前年度と比較いたしまして61万3,000円の減額であります。

恐れ入ります、3ページをご覧ください。

支出の事項別明細でございます。

科目1、主食費の右側の説明欄をご覧いただきたいと存じます。

パンと米であります。米飯は現在、約2日に1回以上の割合で実施しております。パンは、週1回から2回実施しております。

科目2、副食費であります。1の小麦粉類には、うどん等の麺類が含まれております。

12の飲用牛乳は、200ミリリットルの紙パックでございます。

14、緑黄色野菜及び15、その他の野菜につきましては、市内の生産者の協力を得て、地場野菜を積極的に取り入れてまいります。ニンジン、ジャガイモ、大根、里芋、コマツナ、キャベツなど、生産の時期に合わせて、平成28年度も使用してまいりたいと考えております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○鈴木委員長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第4、第2号議案 平成28年度東大和市学校給食事業計画及び平成28年度東大和市学校給食会計予算について（諮問）について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木委員長 ご異議なしと認め、第2号議案 平成28年度東大和市学校給食事業計画及び平成28年度東大和市学校給食会計予算について（諮問）について、本件を承認と決めます。

◎日程第5 その他報告事項

○鈴木委員長 日程第5、その他報告事項を行います。

報告事項1、調理配膳業務委託業者の選定について、本件の報告をお願いいたします。

給食課長。

○梶川給食課長 それでは、本日の資料でございます。資料その他報告（1）をご覧いただきたいと思っております。

平成27年の6月に契約が終わりまして、現在、新学校給食センターの建設が

着々と進んでおります。当初の予定で平成28年の9月には竣工いたしまして、平成29年度から稼働いたすわけでございます。

本日の報告事項でございますが、新学校給食センターの稼働と同時に、調理業務、配膳業務を民間委託とするという方向性が決まっておりますので、それについての現在の検討案ということで、ご報告させていただきたいと思っております。

まず、(1) 給食調理及び学校での配膳でございますが、これまでの経過でございますが、東大和市では、「安全で安心な学校給食の提供」「魅力的な学校給食の提供」「生きる力を身につけるための食育の推進」「安定的な学校給食の提供」、こちらを基本理念といたしました「東大和市学校給食計画」、こちらを平成24年7月に策定しております。この計画をもとに、新学校給食センターを建設いたしまして、給食センターの諸課題を解決することを目的として、「東大和市学校給食基本計画」を平成24年11月に策定できております。

その後、運営方法につきまして、東大和市学校給食センター運営委員会に審議をいただきまして、平成29年4月稼働予定の新学校給食センターの調理業務及び配膳業務につきまして、民間委託とするということとしております。

参考として、これまでの経過を、その下に載せてございます。

四角い表でございますが、現在と新学校給食センターと上下で表記してございますが、この部分で、給食調理・配缶、それから右端の列ですが、学校での配膳業務、こちらの2つについて、新学校給食センターでは、調理配膳委託業者のほうに業務を委託するということになります。

それでは、(2) でございますが、その委託業者の選定方法についてでございますが、こちらに、文章の中ほどに黒ポチが2つございます。こちらにつきましては、東大和市学校給食センター運営委員会で審議いただいた後のその答申の抜粋をしておりますが、黒ポチの1つ目でございます。安全で安心な学校給食の提供が必要であることから、学校給食を理解し、安全衛生管理面におきまして十分な認識と体制を持って、信頼できる民間業者に委託する必要があるということ。もう1点目の黒ポチですが、業者の資質が重要な要素となることから、単に金額だけで決めるのではなく、競争入札ではなく、どのような体制で東大和市の給食調理業務に当たれるかなど提案を募りまして、学校給食への理解度や姿勢を総合的に判断するプロポーザル方式によることが望ましいというご意見をいただいておりますので、こちらを最大限尊重いたしまして、プロポーザル方式として庁内

の職員で構成する選定委員会で選定を行う予定でございます。

資料の説明につきましては以上でございます。よろしくお願いたします。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

報告事項2、新学校給食センターにおけるアレルギー対応について、本件の報告をお願いいたします。

給食課長。

○梶川給食課長 それでは、続きまして、その他報告資料の(2)をご覧いただきたいと思ひます。

東大和市学校給食に係るアレルギー対応方針(案)でございます。

先ほどの(1)の報告のところでもご説明しましたが、新学校給食センターが担う諸課題、解決すべき諸課題の1つにアレルギー対応がございます。このアレルギー対応について、現在進んでおります対応方針(案)についてご報告するものでございます。

(1)のアレルギー対応でございますが、現在は「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」及び「アレルギー情報提供依頼書」の提出者に詳細な献立表を提供し、児童・生徒が自己除去をしていただくという形でございます。

新学校給食センター稼働後は、このアレルギーにつきましては、おおむね80食程度のアレルギー食の調理を想定いたしまして、独立した調理室を設けさせていただきます。除去対象のアレルギー原因食材を含む給食について、当該食材を除いた除去食を調理いたしまして、個別容器にて児童・生徒に提供させていただきます。

それでは、(2)ですが、除去する対象品目でございますが、国の省令がございまして、こちら、2行目の中ほどでございますが、かぎ括弧の中でございますが、「発症件数が多い」または「症状が重くなることが多く、生命に関わるため」との理由により、表示義務が設けられている7品目というのがございます。

以下に書かれてございます、3行ほどでございますが、卵、乳、えび、かに、小麦、そば、落花生が、この7品目でございます。この7品目について、以下の対応とさせていただきたいと考えておりますが、まず卵、乳、えび、かにについ

ては、除去食の提供をさせていただきたいと考えております。小麦につきましては、飛散することから、除去食対象とはしないということで考えております。こちらは完全に混入の防止を払拭できない可能性があることから、除去食対象とはせず、従来どおりの自己除去等の対応をお願いする予定でございます。そば、落花生につきましては、現在、学校給食で提供しないこととしておりますので、学校給食では出ないという形になります。

次の黒ポチでございますが、国におきまして、過去に一定程度の頻度で発症が報告されているもののうち、キウイフルーツ、それから該当者が東大和市において比較的多いアーモンド、こちらを除去食の提供として行う予定でございます。くるみやカシューナッツにつきましては、既に学校給食において禁止食材としておりますので、提供はいたしません。

(3)の対象者でございますが、これらの除去食を行う対象児童・生徒につきましては、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の提出者とさせていただきたいと考えております。

最後でございますが、米印のところでございますが、この「東大和市の学校給食に係るアレルギー対応方針（案）」に沿いまして、今後、「東大和市立小・中学校アレルギー疾患への対応マニュアル」を改定する予定でございます。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

では、私のほうから1点ですけれども、先ほどの業者の選定にかかわるわけですが、業者が、このアレルギーの対応について、経験がある、他市や他区に給食を作って運んでいて、そしてアレルギーについても万全にやってきている、そういう業者を一つの視点として選ぶことも大切かと思うのですけれども、先ほど値段だけではないというお話があって、なるほど、そうだと思ったのですが、そのほかにこのアレルギー対応も重く見ていただいたほうがいいのではないかと私は考えているのですけれども、いかがでしょうか。

学校教育部長。

○阿部学校教育部長 業者の選定に当たりましては、東大和市の学校給食センター運営委員会の答申を最大限尊重してまいりたいと考えております。その至るまで重ねてきた議論の中、検討の中でも、食育の充実ですとか、アレルギー対応の充

実ということも重視されてまいりましたし、私どももそのような思いを受けて、今後の選定に際しては評価の一つの重要なポイントだと考えております。具体的な評価項目をどうしていくかというのは、今後の検討にはなりますけれども、今の委員長からのお話の点もよく頭に入れて、今後、具体的な検討に生かしていければと考えております。

以上でございます。

○鈴木委員長 では、よろしく願いいたします。

ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

報告事項3、第35回東大和市立小・中学校連合書き初め展について、本件の報告をお願いいたします。

指導室長。

○岡田学校教育部参事兼指導室長 それでは、その他報告(3)をご覧くださいければと思います。

平成27年度連合書き初め展の来場者数の表が出ているものでございます。

当日、1月16日、土曜日、1月17日、日曜日、両日とも天候が良く、大勢の来場者数がありました。1日目は1,781人、2日目につきましては1,865人、2日間で合計3,646人の来場者数がありました。この数につきましては、昨年度より351人、多くございます。

昨年度は、会場が第二小学校で行われたということもございますが、この数字につきましては、その前の年、平成25年度の数からしても、200人以上も多く来場を今年度はしていただいているという数になってございます。

来場者からは、今後もこのような書き初め展は続けてほしいというような要望があり、またこの会場には市内の小学生、中学生だけではなく、都立の高校生、東大和高校、東大和南高校の作品も展示されておりました。また、喜多方市と友好都市を結んでいる関係から、喜多方市の小学生、中学生の作品も展示されておりました。そのようなところから、高校生の作品は迫力があって本当に素晴らしいという声も上がっておりました。小・中・高、そして喜多方市の小・中学生の作品交流が、この会場を一堂にして、そういうことで良さがあらわれた、そのような連合書き初め展になったと思っております。

報告は以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

岩田委員。

○岩田委員 1つ。書き初め展を見て、私も当日、とてもたくさんの方が来てくださっているなと感じました。それで、第三小学校のところに行きましたら、少しほかの学校と違って、あれと違っていたら、特別支援のお子さんの作品が貼ってありまして、ご両親がそこにいらして、お母さんが、どうして3年生の隣なんだらうねというふうにおっしゃっていて、そうしたらお父さんが、でも、こう見たときに、3年生がお正月という題材で、その子がお年玉という題材でしたので、全然違和感なく私はずっと何げなく見過ごしていたのを、やはりお父さんも、これなら全然気にならないよねとおっしゃっていて、きっとそういう心配りをなさったのかなと思って、個人的にはすごく良いことだったのではないかなと感じました。

以上です。

○鈴木委員長 指導室長。

○岡田学校教育部参事兼指導室長 今、岩田委員からお話があった件でございますけれども、第1日目の準備の段階で私のほうも気づいたところでございます。第三小学校の特別支援学級のお子さんは、1人のみの作品の提出でございました。3年生の作品数が、1人、ほかの学年より少なく提出している中に、特別支援学級のお子さんの作品を1枚貼るといような、用紙のサイズの関係で作品数が限られているという中で、そのような対応を学校のほうがいたしました。

当日、学年が違う中で、順番が非常に大事だということに気づきまして、急遽だったのですけれども、その学年がつながるように、その配置をずらしたといような経緯がございます。学校のほうと連絡をとりまして、保護者にもお話をさせていただきながら、その会場準備に教育委員会としても携わって、これだったら大丈夫かなといようなところで準備をしたといような経緯がございます。

ありがとうございます。

○岩田委員 偶然にもその場でご両親のそういう受け入れてくださったという言葉 ちょっと耳にしたものですから、この場をおかりしてちょっと報告をさせていただきました。

○岡田学校教育部参事兼指導室長 ありがとうございます。

○鈴木委員長 ほかにありませんか。

では、私のほうから1点ですけれども、指導室長からの報告にもありましたけれども、今年の連合書き初め展は、高校生の出品点数が多かったのではないかと、作品も多様なものがあつたのではないかと思いました。スペースも広くとってありまして、非常にあれは良いと思いました。例えば中学3年生のお子さんは、作品を見ると、自分が今度、高校進学したら、こういう書道の勉強ができるのだという見通しや希望が持てて、とてもいい試みだと思います。

それで、東大和市は連合書き初め展もそうですし、今度、東京都で行われる中学校駅伝、それから東大和市教育委員会から高校生を対象にした表彰、こころちゃんの表彰、ああいうところに高校生も入れてもらうというのは、小・中・高の連携でとてもとても有意義だと私は思っています。

それで、先日の表彰のときも、東大和市の都立の校長先生が、地域の教育委員会にうちの子どもがこういう面で表彰されるというのは、本当にありがたいこととして、そういうお礼の言葉もありましたので、良い伝統だと思いますし、有効な教育の効果が出ると思うので、ますます活発にやっていただきたいと思って申し上げます。

指導室長。

○岡田学校教育部参事兼指導室長 ありがとうございます。

この連合書き初め展の高校生の出品につきましては、もうずっと伝統的になっておりますけれども、当初は高校の書道の先生も、出品に関して私たちのほうに任せて貼っていくというようなところもあつたのですけれども、今年度、昨年度もそうだったのかもしれませんが、今年度においては、この作品を出すぞというような予定をしっかりと前々から持っておりまして、その先生が、ここに向けて作品づくりをしているという話も伺いました。そういった点で、生徒も力のこもった作品が、より今年度はその作品に込められたのかなと想像しているところでございますけれども、この連合書き初め展のほかにも、この高校との連携につきましては、都内を見ても東大和市ぐらいしか行っていないのではないかとと思われるような高校との連携でございますので、特色あるそういう活動としても、今後もより充実した連携をしていきたいと考えております。

以上でございます。

○鈴木委員長 市の市民文化祭のときの中央公民館の行事で司会を、東大和高校の何とか部の生徒が来て、一緒に出し物を、行事を進めている場面があったと思うのですけれども、今の学校教育部とともに、社会教育部も一緒に、さまざまな意味で小・中・高と一貫した考え方で進めていただければ、東大和市民にとっても大変ありがたいかと思えます。

よろしくをお願いします。

質疑を終了いたします。

報告事項4、東大和市社会教育委員会議からの提言について、本件の報告をお願いいたします。

社会教育課長。

○村上社会教育課長 それでは、その他報告4、東大和市社会教育委員会議からの提言について、ご報告させていただきます。

お手元にごございます黄緑色の冊子、「スポーツ、身近な運動と外遊びの充実を図る「東大和市スポーツ推進計画」の作成について」をご覧ください。

本提言は、平成28年1月19日に、東大和市社会教育委員会議から、東大和市教育委員会委員長のほうに提出されたものでございます。

その概要について、ご説明をさせていただきます。

これまでも社会教育委員会議の中では、2年に1度、任期のたびに、これまでも「学校支援活動と人材活用」、「地域へ広げる中学生の活動」、「地域の中の世代間交流」等、調査研究して、その結果を提言という形でまとめてまいりました。今期の社会教育委員会議の中では、2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることから、それを視野に、当市ではまだ策定をしていない国のスポーツ基本法でうたう地方スポーツ推進計画について研究を重ね、提言としてまとめたものでございます。

表紙をおめくりいただきまして、目次をご覧ください。

「はじめに」の後に、2として「東大和市におけるスポーツなどの現状と課題」、3として「東大和市における身近な運動と外遊びの現状と課題」、そして「東大和市スポーツ推進計画策定に当たっての留意点について」と、あと「おわりに」という形でまとめられてございます。

提言のポイントは、東大和市スポーツ推進計画の策定に当たっては、従来のスポーツ・レクリエーションという枠だけでなく、元気ゆうゆう体操などの身近な

運動、あるいは子どもたちの外遊び、こういった要素も計画の中に盛り込んでほしいというものでございます。

現在、市では第三次生涯学習推進計画の策定に向けまして審議会を立ち上げてございますが、この計画には、提言にもありますように、東大和市スポーツ推進計画の内容も加味したものとすることとなってございますので、本提言の内容を参考に、審議会の中では計画をまとめ上げていただけるものと、このように考えてございます。

以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

では、私のほうから1点、お願いします。

話が長くなって申し訳ないですけども、全国一斉体力テストを小学校5年生、中学校2年生を対象にして行っていて、その結果が報告されていますよね。ご存じのように、小学校5年生の男子は、東京都は全国47都道府県中22位、女子は27位。中学校2年生の男子は47位、下がらない。女子が43位。こういう実態を東京都の小・中学生について見せられているわけですけども、これを東大和市の小・中学生のそれぞれ学校の例で見ますと、この調査項目は8項目ある。8項目のうち、東大和市の小学校5年生の男子は、握力と、もう一つ、2項目が東京都の標準を上回っている。6項目、劣っている。東京都の標準、標準というか、平均を下回っている。小学5年女子は、握力など3項目が東京都の平均を上回っているけれども、5項目が下回っている。中学生についていうと、中学2年の男子は、握力など3項目が上回っているけれども、5項目は平均以下だ。東大和市の中学2年の女子は、握力など2項目が都の平均を上回っているけれども、6項目が下回っている。私は専門家ではないからわかりませんが、東大和市の子どもは握力が全部標準以上ですね、標準というか、平均以上。これ、きっと何か原因があるに違いないと思いました。

それから、市内の小・中学生は、学年が進むにしたがって東京都の平均を下回る項目が残念ながら増えている。だから、小学校は22位と27位だけれども、中学校は47位と42位で下がってきている。

それから、全国の学力調査の都府県別順位を見ると、学力調査の順番と、この体力調査の順番とほとんど一致している。石川県や福井県は、体力のほうも1位

か2位、学力と同じです。その深い相関関係をどう見ていくかということが、やはり学力向上にとっても大切な事柄になってくると私は感じました。

東大和市の施策の重点は、「日本一子育てのしやすいまちづくり」です。こういう市長の施政方針が出たときに、たまたま今回、時宜を得て、オリンピック・パラリンピックの関係もあったのでしようけれども、社会教育委員会議のほうから、この提言を得たということは、非常にタイムリーで良かったと私は思っています。

今、課長のほうから説明があったように、東大和市スポーツ推進計画をぜひつくりたいと、取り組みつつあるという話ですから、この体制を、全庁的な体制を組織的にしっかりつくって、そこで実態に基づいた、また結論を出していただいて、結論をぜひ実現していただいて、対応して実現していただいて、「日本一子育てのしやすいまちづくり」に生かしてもらって、そういうまちづくりを実現させてほしいというのが、私が今日、言いたかったことです。

ぜひ、ひとつ東大和市にとっては、特に子育てにとっては切実な結果も出ておりますので、有効に活用して、社会教育委員会議からの提言を実現させていただきたいと私も思います。

以上です。

社会教育課長。

○村上社会教育課長 どうもありがとうございます。

ただいま委員長のほうからお話のございました、学年が上がるにつれ、スポーツの順位が下がるということは、社会教育委員会議のこの報告書の中でも、ページでいけば9ページ、資料でいけば37ページに、市内小・中学生の土曜日に運動する場所という形で、特に女子のほうで、そういう形でいけば、学年が上がるにつれて運動が好きという比率が減っていると、社会教育委員会議の中では、そういう状況を踏まえてございます。そういった形の中での提言とご理解いただければと思います。

また、生涯学習推進計画の審議会でも、委員につきましては、体育関係、文化関係、あるいは青少年関係、障害者の関係、そういった団体、さまざまな市内のそういう関係の団体から、審議会の委員に来ていただきまして、そういう意味でいけば市内の全市民を対象とした全庁的な取組で、今後、計画をまとめ上げていきたいと、このように考えてございます。

以上でございます。

○鈴木委員長 社会教育部長。

○小俣社会教育部長 私からも一言、お話しさせていただきますけれども、委員長には今、全国的な順位のお話をいただきました。学力と体力、相関関係が必ずあるというところでは、私もきっとそうだろうなと思っているところでございます。

市長の施政方針にもあります日本一子育てしやすいまちにするという中では、関係部署だけでなく、全庁的な取組としてさまざま考えていこうと思っています。

そういう中で、この提言につきましては、全部署に配る予定で今動いております。体育のスポーツ推進計画、そういう内容は、社会教育の分野が多いのですが、ただ全庁的に、この提言を見ていただいて、施策に取り込めるところは取り込んでいってもらおうと、そういうお願いも、私、庁議の中でも話をしていきたいと思っております。

この提言を最大限尊重しながら、実のある生涯学習推進計画、そしてスポーツ推進計画をつくり上げたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

以上でございます。

○鈴木委員長 今、社会教育部長のほうからお話があって、心強い感じを受けましたけれども、こういう提言は社会教育委員会では、2年に1度ずつ、さまざまなテーマで提言していて、その提言を全庁的に取り上げて、これを生かして施策に強く反映させていこうという、そういう雰囲気というのは、私も社会教育委員をやって提言したこともあります。言葉は悪いですが、ほとんどがお蔵入りになってしまっているのではないかなと思っていました。今回は非常にタイムリーにこういうのが出てきて、部長や課長からもお話いただいて、きつともっと市民にPRするところはPRして、ぜひ実現していただきたいと思えます。

ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

報告事項5、第62回東大和市成人式について、本件の報告をお願いいたします。
社会教育課長。

○村上社会教育課長 それでは、その他報告5、第62回東大和市成人式の参加者について、ご報告させていただきます。

資料5をご覧ください。

1月11日の当日は、天候にも恵まれて、多くの新成人の皆さんに式典に参加をいただきました。また、教育委員の皆さまにも、成人式のご臨席を賜りまして、まことにありがとうございました。

成人式の参加者につきましては、お手元の資料のとおり、案内状のはがきの発送者数が798人、うち市内が786人、市外が12人でございます。そのうち当日の参加者につきましては、552人ございまして、内訳といたしますと、市内が518人で、市外が34人となっております。出席率につきましては、全体で69.2%になっておりまして、下段にございます平成27年と比較いたしまして、0.2ポイントのアップとなっております。

参考までに、下段のほうに、今申し上げましたように、前年の数字を掲載させていただきます。

簡単ではございますが、以上で第62回東大和市成人式の参加者について、ご報告をさせていただきます。

以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

教育長。

○真如教育長 はがきを出した数は、市外については12人って書いてあって、当日参加者数が34人って書いてあるのは、これはどういうことですか。

○鈴木委員長 社会教育課長。

○村上社会教育課長 中学生卒業時に東大和市にいらっしゃって、その後、転出された方で、成人式は東大和市の成人式に参加したいという方から、お問い合わせをいただいた方が12人という形で、こちらの方にははがきを発送させていただいたということです。ただし、当日、はがきを持たなくても、当日受け付けというものもございますので、その他の方は、多分はがきの発送時期に間に合わなかったが、12月の下旬ですかね、発送の時期以降にご連絡をいただいた方とか、あるいは1月に入って参加できますかといった方が、当日でもいらっしゃいますという形で、そういった意味で、東大和市からはがきの発送がなくても、いらっしゃった方が合計で34人であったと、このようにご理解いただければと思います。

以上でございます。

○鈴木委員長 私のほうから質問になりますけれども、毎年、教育委員会で成人式を所管して行っていて、成人式が近づくと、今年の成人式はどんな雰囲気で行われるのかなというように心配になって、いろいろ工夫したりしながら積み重ねてきているのですけれども、私の感じでは、今年の成人式は、今までになく、とても静粛で、成人した人たちも自覚が高まったのか、大変良い成人式ができたと思っておりました。担当者のほうとしては、何かこういう良い成人式になったのは、こういう工夫があって、それが生きたのだとか、何か気がつくことはありますか。

社会教育課長。

○村上社会教育課長 成人式につきましては、特別、例年と比べて大きく違ったということはございませんが、ただ今回の成人式につきましては、ハミングホールのご協力もあります。今まで小ホールは、そのまま使わないということで行っていたのですけれども、今年は成人式のイベントにハミングホールも参加いただいて小ホールを使って、ハミングホール独自のイベントを行ったり、あるいは選挙管理委員会のほうも、昨年からですけれども、二十の投票という形でコーナーを設けたり、あとはオリンピック・パラリンピック関係の展示、タオルの配布、そういった形で従来の式典と、アトラクションという形だけでなく、さまざまな要素が成人式の中に盛り込まれたことによりまして、それが結果的に静かだというふうには、どうつながるのかと言われると、そこまで分析はしてございませんが、そういったさまざまな工夫を凝らした結果が、委員長もおっしゃるとおり、今回の静かな成人式だったのかなと、このようには考えてございます。

以上でございます。

○鈴木委員長 今年のような成人式が行われると、市民にとっては非常にうれしいことだし、心から新成人を祝福しようという気持ちになれますよね。本当にだんだん良くなってきたし、今年はとても良かったと私は評価しております。

あと何かございますか。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○鈴木委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって、平成28年第1回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 3時01分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会委員長 鈴木 敏彦

会議録署名委員 岩田 圭子